

私のインテリア with LIXIL

2026

私流

心地よい“しつらえ”が叶える

「ホテルライク」な インテリア

Column

すっきり
心地よく暮らす
しつらえのヒント

暮らしのノイズを減らす
すぐ片づく仕組みのつくり方
美しさは背景と細部から
空間を土質に見せるしつらえ
光と空気を調える
毎日が整う住まいの工夫



Case 2 (P8～) Cさん宅



心地よい^いしつらえ^えが叶える

私流

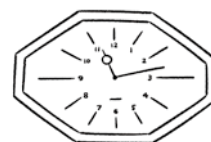
「ホテルライク」なインテリア

Illustration=Kohei Ashino

「私のインテリア with LIXIL」は
 LIXILの建材を素敵にとり入れた
 おうちを紹介するインテリアのスタイルブック。
 日本最大級のインテリア実例サイト
 「RoomClip」で開催された
 インテリアのコンテストの入賞者を中心に
 インテリアや暮らしのヒントを取材しています。

11冊目を迎える今号のテーマは
 心地よい^いしつらえ^えが叶える
 私流「ホテルライク」なインテリア。

玄関を開けた瞬間、ふっと肩の力が抜ける。
 余計なものが目に入らず、
 好きなものだけが静かに迎えてくれる。
 気持ちグッと整っていくような、あの感覚。
 それは、物が少ないからでも
 高価な家具が並んでいるからでもありません。



Case 5 (P28～) Uさん宅



Case 1 (P2～) Fさん宅

Column : すっきり心地よく暮らす しつらえのヒント

- 1 暮らしのノイズを減らす
すぐ片づく仕組みのつくり方 P020
- 2 美しさは背景と細部から
空間を上質に見せるしつらえ P032
- 3 光と空気を調える
毎日が整う住まいの工夫 P044

What's HOTEL LIKE?

ホテルライクと聞くと、
色数を抑えた生活感のない空間や
どこかラグジュアリーな雰囲気
思い浮かべるかたが多いかもしれません。
けれど実際のホテルは、今やじつにさまざまです。
カフェのようにくつろげるホテル。
アートを楽しむホテル。
自然とのつながりを感じるホテル。
それぞれ表情は違っても
共通しているのは「心地よく過ごせること」。

私たちがホテルにひかれる理由は、
インテリアのスタイルそのものよりも
そこで得られる体験にあるのかもしれない。
では、その体験を自分の家でも叶えるには
何が大切なのでしょう。
取材を重ねる中で気づいたことがあります。

心地よさを感じるお宅は
インテリアはもちろん素敵ですが、
必ずそれを引き立てる「背景」がありました。
お気に入りの家具やアートが自然に映えて
空間全体がすっきり見える。

住まう人にとってのノイズが少なく、
ただそこにいだけで気持ちが落ち着く。
そんな土台をつくってくれるのが
「しつらえ」の力。

ホテルライクな心地よさは
そういった背景づくりから
生まれているのかもしれないね。

しつらえ【設え】
空間や場を目的に合わせて整え
ること。インテリアや家具だけ
でなく、建具や照明、素材の選
び方なども含めた、空間全体の
演出や工夫をさします。

Case 1 (P.2) Nさん宅



Case 3 (P.14~) Yさん宅



住まう人にとっての「ノイズ」が少なく、
自然体でいられること——
そんな空間には
まるでホテルを訪れたときのような
心地よさが漂います。
今回ご紹介する実例は
まさにそんなお宅ばかり。
その心地よさはどこから生まれているのか、
それぞれの暮らしの工夫を
ひも解いていきます。



Case 4 (P.22) Tさん宅



CASE 01

洗練された
和風旅館のような
凜とした心地よさ



キッチンとダイニングの天井は低めにし、無垢の杉板を張って落ち着きとくつろぎ感を。

ホテルライクなしつらえ

Point1

窓から日々
季節のうつろいを感じられる



緑地に面するロケーションを生かして窓を設置。新緑から紅葉、落葉へと変化する眺めを楽しめます。高性能のLIXILの窓+無垢材の枠で借景と調和する窓に。

Point2

障子を通した光が
穏やかなくつろぎ感を演出



やわらかな障子越しの光は、心をやさしくほぐす効果が。ダイニングの窓にも障子を設置。庭の植栽の影が映り、風に揺れて静かなときめきを与えてくれます。

Point3

木肌と白色で
家じゅう統一された世界観



建具や壁のクロスもまっ白で統一し、ナチュラルな木材を合わせてぬくもりをプラス。控えめにあしらった黒のアクセントがきいています。キッチンもLIXIL「ノクト」のソリッドホワイトに黒の把手をチョイス。



キッチンから見るいちばん好きな眺め。丸テーブルに障子、「トルボー」のペンダントライト。季節に応じてかけかえる手ぬぐいタペストリーが楽しいアクセントに。

大阪府/Nさん

お子さんの誕生を機に家づくりにとりかかったNさん夫妻。土地探しと工務店探しを同時にスタートしました。ブランは建築関係の仕事をする妻が主導しつつ、ポイントでは夫に相談。お二人の意見がバランスよく反映された家になりました。

INFO

[ハンドルネーム] nami

[URL] <https://roomclip.jp/myroom/6518695>

[施工] 株式会社

憧れの建築家スタイルを 自分らしくアレンジして

白と木のシンフルな空間に、障子や畳のあしらい。丸テーブルに北欧のデザイナーズ照明。洗練された和風旅館のような、「ジャバンディ」を思わせるインテリアです。

高校生の頃に自宅を建てるプロセスを見て、「家づくりって楽しい!」と目覚めたNさん。その後、大学の建築学科で学び、建築関係の会社に就職。結婚をし、「いつか自分たちの家を建てる」と夢見る日々を送っていました。

そんなNさんのバイブルは、建築家の伊礼智さんや小谷和也さんの著書。自然素材の使い方や和テイストのとり入れ方などさまざまなヒントを得たそうですが、「デザインだけでなく、伊礼さんの著書『小さな家で豊かに暮らす』など、家づくりの哲学にも大いに共感しました」

こうして建てたい家のイメージをじっくりふくらませ、ついに形にす



16.7畳のLDKは、ほどよい距離感が心地よく、家族の会話も弾みます。リビングドアはLIXIL「ウィンティア」のチャコールブラック。

るときが到来！でも自宅のプランを建築家に依頼することは考えなかったそう。「建築家デザインではなく、自分たちらしさを大切にした家にしたかったんです」

地元の工務店に照準を定め、「好みに合いそう」と感じた会社へ依頼を決定。これが結果的には大正解でした。たぐさんの希望を伝えて一緒に考え、プロの目線で期待以上の提案も。「家づくりのプロセスそのものが、楽しい思い出になりました」

Nさんがこだわったことのひとつが、杉板張りの天井です。「木のぬくもりが感じられて、見上げるたびにほっとします」。その素材感をきわ立たせるように、建具は潔い真っ白、壁のクロスも建具と同系統の白を選びました。

「無垢材の窓枠や幅木、アルミの見切りなど、使いたかった部材が標準仕様だったのもラッキーでした。おかげで、すっきりした印象とあたたかみをもし出せたと思います」

自然の巧みなとり入れ方も建築家から学んだこと。木枠のビクチャーウィンドウには四季折々の借景が切りとられ、ダイニングの障子には庭のオリーブの葉影が映ります。

「お気に入りのペンダント照明や丸テーブルが見えるキッチンからの眺めが大好き。風に揺れる葉が障子に映るのを見ると、うっとりします」

暮らしがすっきり 整えば 心も穏やかに

HOTEL DETAIL LIKE

キッチン横に収納ステーションを配置

- 1 キッチンと洗面・脱衣室の間に、たっぷり収納できるユーティリティを設置。両側から使えて家事動線もスムーズです。
2 室内干しやアイロンがけもできる広い洗面・脱衣室。洗面化粧台はLIXIL、引戸はLIXIL「ラシッサS」のプレシャスホワイト。



HOTEL DETAIL LIKE

おもちゃの 定位置をつくって いつもすっきり

- 3 キッチン横にデスクを造りつけて、市販の棚を「絵本コーナー」に。選んだ本をソファでくつろぎながら読みます。4 リビングの収納内にもおもちゃの定位置をつくり、遊んだあとは自分でお片づけ。扉はLIXIL「ラシッサS」のプレシャスホワイト。



HOTEL DETAIL LIKE

リビングは 障子で和モダンな旅館風に

「障子は割りつけまで自分で考えてオーダーしました」。洗練された和風旅館の趣に。ゴロゴロくつろいだり、ヨガもできる畳スペースは、置くだけで使えるLIXIL「アクセント畳」のグレーージュ。



HOTEL
DETAIL
LIKE

目線の先にはいつも季節の借景が



2

1 階段ホールに設けた横長の高窓。「ここから朝日が直接さし込むんです」。プライバシーを気にせず、空と緑が見えるのも魅力。2 ご主人の書斎にも緑を切りとるピクチャーウィンドウを。LIXILの窓に木枠を設けました。



1

旅先で迎える朝のすがすがしさを日常に



4

リビングからも見える
ピクチャーウィンドウ



5

3 リビングドアはLIXIL「ヴィンティア」のチャコールブラック。アンティークガラスをはめ込んでレトロな趣に。ダイニングとリビングの天井高の違いが豊かな陰影を生みます。4 ピクチャーウィンドウを目立たせるために、玄関の収納扉はシンプルなLIXIL「ラシッサS」のプレシヤスホワイトを選び、把手も白に。床には大谷石風のタイルを貼りました。5 リビングドアを開けると玄関のピクチャーウィンドウが正面に。緑が目飛び込み、みずみずしい印象。

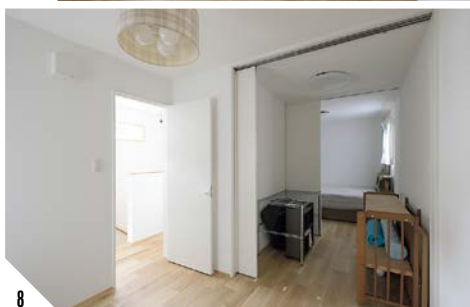
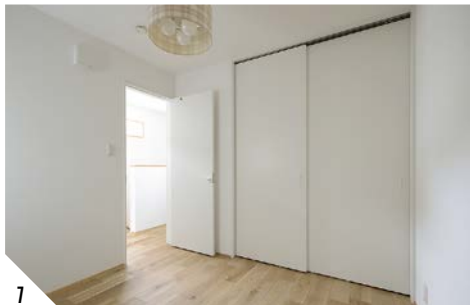


3

階段下にお掃除ロボの定位置を。
夜のうちに掃除が完了

HOTEL DETAIL LIKE

建具を白で統一してすっきりと



6 2階廊下の収納扉、子ども部屋のドアや書斎の引戸は、LIXIL「ラシッサS」のプレシャスホワイトで統一。圧迫感がなく、明るい雰囲気。7 子ども部屋は将来を考えて引戸で仕切るスタイルに。LIXIL「ラシッサS」のプレシャスホワイトの引戸は、閉めれば壁のように見えます。8 引戸を開ければ広いワンルーム。2部屋の間には両側から使える収納スペースを設けています。



心地いい一日の始まりは
片づけやすいプランから

どの時間帯も魅力的なNさんのお宅ですが、とりわけ朝の心地よさは格別。2階の寝室を出ると、階段ホールの高窓から朝日が降り注ぎ、目覚めたばかりの体にパワーをチャージします。書斎の窓に広がるのは、日々表情を変える借景の緑。まるで旅先のようなすがすがしさとときめきを毎朝感じることが出来ます。

1階に下りれば、すっきり片づいたLDK。これは暮らしを考えたプランのおかげです。「リビングにたっぷり入る収納を設け、一角を子どもが自分でお片づけできるおもちゃ置き場に。寝る前に日用品も定位置に戻し、お掃除ロボットの動線を確保すれば、寝ている間にきれいな空間がよみがえります」

玄関脇に設けた水回りはご主人のこだわり。サッカー部時代の経験を生かし、泥だらけで帰ってもリビングに汚れを持ち込まないための策ですが、「手を洗って隣のユーティリティに荷物を置くことで、オン・オフの切りかえができるのもいいですね」。

建築家の作品に触発された、ノイズレスながらぬくもりのある空間。和の要素を巧みにとり入れ、暮らしへの目線も大切に。Nさんらしいホテルライクな住まいになりました。

HOTEL DETAIL LIKE

ストック品は
キャビネット付トイレの
収納棚に



トイレはLIXIL。キャビネット内にタンクを隠して、見た目もすっきりさせ、掃除もしやすく。ペーパーのストックもできます。

ADVISE

これから家づくりを始めるかたへ

家のイメージはわりと早く決まったのですが、具体的にクロスや床、土間などを決めるのに悩みました。そんなとき工務店の担当者のかたが、全体のインテリアとのバランスも見ながらアドバイスをくださったのがとても役立ちました。今はネットやSNSで発信している会社が多いので、自分に合う会社を探すのがカギだと思います。



Point1

生活感を見せないこともホテルライクのポイント。まっ白でシンプルな収納を採用し、手間をかけずにサッと片づくプランです。キッチン背面収納の引違い戸はLIXIL「ラシッサS」のプレシャスホワイト。カウンターの笠木もLIXIL。

何でも
隠してくる
大きな収納

Point2

白・茶・黒定番カラーの
シンプル空間



色数を抑え、落ち着いたカラーでまとめて洗練された雰囲気。建具の把手をなくしたり、目立たない引手を採用してノイズレスを実現しています。右の白い引戸はLIXIL「ラシッサS」のプレシャスホワイト、左の黒い引戸はLIXIL「ヴィンティア」のチャコールブラック。

Point3

日々
癒やしてくる
ガーデンテラス



眺望のいい2階にリビングを配し、バルコニーを思いきって広げました。外からの視線を気にせず、大きな窓からの光と風、そしてたくさん置かれたグリーンが目と心を癒やしてくれます。窓とウッドデッキはLIXIL製品。



自然とつながる
アウトドアリビングで
リゾート感を満喫



シンプル+グリーンの空間に、大好きな太陽の塔のオブジェが存在感を放ちます。

大阪府／Cさん

転勤族で9軒の住まいに移り住んだのち、腰を据えて新築することに。土地探しに苦労して心が折れそうになりながら、ようやく理想の土地と出会い、家づくりをスタートしました。成人した2人のお子さんは自立し、今はご夫妻と中学生のお子さんの3人暮らしです。

INFO

[ハンドルネーム] maaL
[URL] <https://roomclip.jp/myroom/157657>
[施工] 松本林業㈱

緑にふれて
日常を忘れる時間

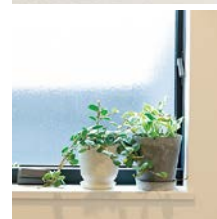
HOTEL
DETAIL
LIKE

ガーデンファニチャーを置いて
まるでリゾートホテル！

バルコニーにはアウトドア用のソファやテーブルを置き、
パラソルも設置して快適に過ごせるセカンドリビングに。
外気の中でお茶やお酒、食事を楽しんだり、植物にふれた
りして、日常をちょっと忘れる時間を。



1 キッチン背面に食器などをたっぷりしまえる収納スペースを。LIXILの扉は開け閉めがスムーズで作業効率がアップ。2 手持ちのダイニングテーブルの高さに合わせてカウンターを設置し、すっきりと。ロフトからの光が心地よく降り注ぎます。3 正面の洗面室への引戸も左のキッチン収納の扉も、天井までの高さに。どちらもLIXIL「ラシッサS」のプレシャスホワイト。4 キッチン横に広めのパントリーを。ストック品や家電製品など、見せたくないものの置き場所です。



ニッチに飾ったお子さんの作品や窓辺のグリーン。小さなスペースのディスプレイが目の安らぎに。窓と窓台はLIXIL。

光と風と緑を楽しみ、 リラックスできる家に

Cさん宅を訪問した日はときおりバラバラ雨の降る、あいにくのお天気でしたが、「大きな窓からデッキに打ちつける雨をぼーっと眺めるのも好きなんです」とCさん。晴れた日にはバルコニーのソファでくつろいだり軽食を楽しんだり。リゾートホテルのような非日常感を味わえます。「コロナ禍で家族と密に過ごすよさを感じながらも、もう少し外とつながる暮らしがしたい、光と風でリラックスできる家に住みたいと思っていました」。そんな矢先に出会ったのが、眺望のいい高台の土地。そのロケーションを生かしてプランしたのが、2階リビングのこの家です。「部屋が多少狭くなっても、バルコニーを広く」と希望。約6畳大のバルコニーに植物をたくさん並べる、念願の暮らしがスタートしました。室内はあくまでもすっきり。白と木の色、アクセントに黒を使っ



色をしぼっているので
落ち着く

2つのリビング

気分を変えて
楽しめる

室内リビングと開放的な外の
リビングを、気分によって使
い分け。床はLIXIL「ラシッサ
Dフロアアース」のチェリー
F。窓とデッキもLIXIL。



ゲームや漫画はロフトに置いて
エンタメスペースに

天井が低くて落ち着き、趣味
に没頭できるロフトは、家族
みんなに人気の場所。床は
LIXIL「ラシッサDフロアア
ース」のチェリーF。

とめ、天井までの建具でノイズレス
な空間を実現しました。そしてボイ
ントは大きな扉の収納。キッチン
の食器や家電などは中に隠し、雑多な
色は視界からカットしています。
シンプルな空間にぬくもりを添え
るのは、あちこちに飾った植物。バ
ルコニーから摘んできた花が、穏や
かな色と香りで家族を癒やします。



2

質感のある建具と レトロな家具が調和



2



3

HOTEL
DETAIL
LIKE

お気に入りの雑貨は
余白をとって
ディスプレイ

1

1 1階洋室のドアは、美しい風合いのLIXIL「ヴィンティア」のチャコールブラックにアイアンブラックのハンドルを。
2 アンティークの水屋筆筒をお気に入りの収納に活用。表情のあるドアと調和し、趣をかもし出します。床はLIXIL「ラシッサDフロアアース」のチェリーF。
3 気の向くままに買った雑貨も、こうして飾ればまとまった印象に。

子ども部屋には自身で選んだアクセントクロス。収納扉はLIXIL「ラシッサS」のプレシャスホワイト。



「すっきりインテリアにしているのは、飾るのが苦手だから」と謙遜するCさんですが、リビングに控えめに飾った太陽の塔のオブジェや金魚提灯などには、肩ひじ張らない人柄がうかがえて素敵です。

寝室に置いた水屋筆筒には、お気に入りの雑貨が集合。テイストが違うものもうまくまとまり、古い家具が風合いのある黒のドアとも調和して、センスを感じさせます。

奥さま以上にミニマリストだというご主人。寝室奥の書斎は一見何もないストイックな空間ですが、外から見えない一角にお子さんたちが昔描いた絵が、ほほえましい光景です。

「外で一生懸命働いたり勉強したりしている家族が、しっかり休める家にしたかった」とCさん。整った空間と愛情を感じるしつらえが、帰宅する家族を温かくもてなしているようです。

HOTEL DETAIL LIKE

生活感の出るものは
見えないところに



4 寝室の引戸はLIXIL「ヴィンティア」のチャコールブラック、W・I・Cの引戸はLIXIL「ラシッサS」のプレシャスホワイト。その奥に書斎を。床はLIXIL「ラシッサ Dフロア アース」のチェリーF。5 書斎の壁にお子さんが小さい頃に描いた絵をディスプレイ。温かな愛情が感じられます。6 寝室から見るとクールな表情の書斎スペース。



7 外からの視線が気にならない高窓を開けて、空気を取り込みます。窓はLIXIL。8 剪定したバルコニーの植物の枝を、土ものの花器に付けて玄関に。9 静謐さを感じさせる玄関。土間収納も扉ですっきり隠します。収納扉はLIXIL「ラシッサS」のプレシャスホワイト。

玄関の大きな窓から
きれいな空気をめぐらせる

ADVISE

これから家づくりを始めるかたへ

最初に「どんな暮らしがしたいか」「どんな家に住みたいか」をできるだけ具体的にイメージすることをおすすめします。そして物件を見に行くときは、時間帯を変えて何度か足を運ぶほうがいいと思います。またインテリアは家具や雑貨でも遊べるので、内装は飽きがこないものを選ぶのがいい、ということもお伝えしたいです。



階段は最初の提案から変更。「蹴込板が白になっていましたが、踏板と素材を合わせてもらいました。このほうがすっきりした印象に」。階段はLIXILで、踏板や蹴込板もチェリーに。手すりはLIXILのスクエアタイプのブラック。



CAGE 03

世界中から集めた
好きなものだけが並ぶ
博物館のような家

お気に入りのコレクションに囲まれたリビングで、ワインエキスパートの資格をもつご主人とワインを片手に映画を楽しむ時間は格別。テラスに隣接したリビング奥には、DIYを楽しむ趣味の部屋があります。引戸はLIXIL「ウィンティア」のチャコールブラックにプラスゴールドの引手。

大阪府／Ｙさん

お子さんが独立したのを機に、夫婦二人の家に建てかえ。外構、ガレージは夫が担当、間取り、内装、インテリアは妻が担当と役割を決め、理想の家を実現。DIYや国内外でのアンティーク収集、グリーンの手入れなど、多彩な趣味を日々楽しんでいます。

INFO

【ハンドルネーム】ymymcurry
【URL】<https://roomclip.jp/myroom/5763573>
【施工】株式会社ユーロプランニング



明るいリビングから見上げる吹き抜けの様子。キリムと息子さんが幼い頃に乗っていた木馬を飾って。

Yさん流

ホテルライクなしつらえ

Point1

スペースによって
テーマを決め、
好みをしぼりきる



階段の壁面棚に並ぶのは、ピエロの陶器コレクション。スペースごとにテーマを決め、まとまりのある構成にすることで、それぞれが小さな展示室のように。

大きな窓からこぼれる光と、植物園を思わせるグリーン。アンティーク家具、世界中で見つけてきた雑貨、ピエロのコレクション——家のどこを見ても、Yさんの「好き」がテーマごとにいいねにディスプレイされています。「遊びに来た友達が、足を止めてじーっと眺めてしまうんですよ」とYさん。訪れるたびに新しい発見がある、博物館のよう

「好き」を存分に飾り、
ラクに整える暮らし

な住まいです。

収集の核になっているのは、子どもの頃から続くピエロとジョーカーへの愛。「ちよつと怖くて、ちよつとおかしくて。なぜか見ていて飽きないんです」。メルカリやeBayを日々チェックし、世界中からお眼鏡に叶った一点物アイテムが次々と仲間入り。場所やシーンごとにテーマを決めることで、それぞれが小さな展示室のようになっていきます。

今の住まいを実現させるためにYさんがこだわったのは、「好きなものに気持ちよく囲まれるためには、目に入れたくないものは表に出さない。そしてキレイをキープするのがラクということ」。その答えが、自身でプランしたという玄関、キッチン、リビングの脇に設け、それぞれをつなぐ細長い納戸です。「暮らしのそばに収納がないと、片づけは続かない」とYさん。目につくものをサッとしまえるから、好きなものだけが並ぶ景色がいつも保たれています。どこを切りとっても、Yさんの「好き」が宿る家です。

Point2

どこからでもすぐに
アクセスできる
バックヤード



玄関からキッチン、リビングをつなぐ細長い納戸を配置。どこにいてもすぐに片づけられる動線が、好きなものだけが並ぶ景色の決め手です。キッチンから納戸への引戸はLIXIL「ヴィンティア」のチャコールブラック。

Point3

心地よい
開放感をもたらす
高さ2.4mの窓



吹き抜けリビングの高さ2.4mの大きな窓から光が空間いっぱいに入ります。LIXILのトリプルガラスは断熱性が高く、「真夏でも内側を触っても熱くない」とYさんが感動した快適さです。



チェッカータイルの床が印象的な玄関には、すき間なく絵が描き込まれているのが大好きというメキシコのトナラ焼きをディスプレイ。窓には、たまたまジャストサイズではまったステンドグラスを飾っています。

わが家の展示空間

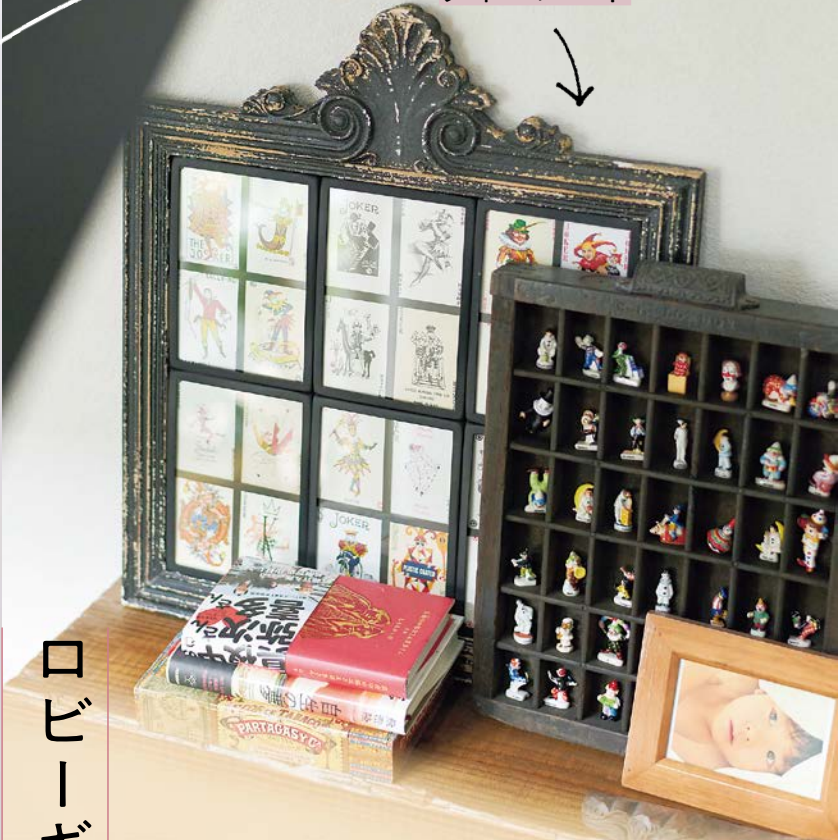


「暗い図書館のように」をテーマにした寝室。宇宙や星をテーマに集めた絵や小物が壁を飾り、赤白のクラウンクッションがアクセントに。深みのある壁色と相まって、独自の世界観をかもし出しています。

ロンドンの蚤の市で見つけた活版印刷の活字入れにはフェーブを。「ダルトン」の額には、何十年もかけて1枚ずつ集めたトランプのジョーカーだけを並べています。

HOTEL
DETAIL
LIKE

コレクションは
テーマと形をそろえて
ディスプレイ



ロビーギャラリーのような



階段側板の黒が空間を引き締めます。その下に配置したのはイギリスのアンティーク棚。壁に飾っている絵は息子さんが描いたもの。

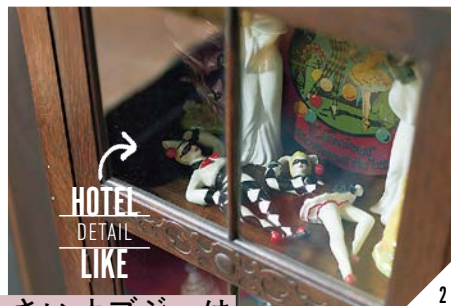


3

3 寝室のドアは、LIXIL「ヴィンティア」チャコールブラックにサークル」のプラスゴールドの把手をセレクト。マットな風合いが落ち着いた空間になじます。4 本棚と間接照明が灯る、暗い図書館をイメージした寝室。好きなものに囲まれたYさんの安息の場所。



1



2

1・2 棚ごとにテーマを決めたピエロやアンティークの置物がぎっしり。ガラス扉があるからホコリ知らず。季節ごとに入れかえも楽しめます。内部に仕込んだライトで、夜は部屋を暗くしてギャラリーのように眺めるのがYさん流。棚の上にはメキシコのトナラ焼きを。



5



6

5 ネットで見つけたアンティーク棚の下にワインセラーを配置。右の壁に飾っているのはピエロモチーフのポスター。6 キッチン棚では黄色をテーマに集めたヴィンテージ缶を飾りながら収納に使用。DIYでライトを仕込み、夜は浮かび上がる演出も。

小さいオブジェは
ガラス棚に「おさめて」
いつもきれいに



HOTEL
DETAIL
LIKE
ヴィンテージ缶は
飾りつつ
キッチンの収納に使う

飾って、灯して
眺める夜が
ある暮らし



7 「この壁紙をどこかで使いたい」と、ひと目惚れした植物柄の海外壁紙を使った2階トイレ。ドアはLIXIL「ラシッサS」のクリエモカ。8 ジングルをテーマにした1階トイレ。チーターなど動物モチーフの壁紙と小物たちが遊び心満点。引戸はLIXIL「ヴィンティア」のチャコールブラックにプラスゴールドの引手。

HOTEL DETAIL LIKE

寝室は照度を落として
図書館をイメージ



HOTEL DETAIL LIKE

2階廊下奥に
フォーカルポイントをつくる

9 2階から見る吹き抜け空間。10 リビングから納戸に続く引戸は、アンティークガラス入りのLIXIL「ヴィンティア」のチャコールブラック。暮らしの必需品をすぐにとり出せます。11 洗面台の両脇に夫婦それぞれの収納棚をひとつずつ配置。12 廊下の突き当たりにアンティークのチェストと照明を置いてフォーカルポイントに。天井には全館空調の吹き出し口があり、家じゅうが快適温度に。

12



10



11

ADVISE

これから家づくりを始めるかたへ

まず自分の好みをしっかり知ること。テイストをしぼったら、それを象徴する家具やインテリアを予算も頑張って厳選すると、空間がぐっと決まります。キレイをキープできる収納の仕組みも、最初から考えておくことをおすすめします。私もまだまだ挑戦中ですが(笑)。



14



13

13 玄関入って左側の納戸の引戸は、モールガラス入りのLIXIL「ラシッサS」のアイアンブラック。家族用玄関→コート掛け→キッチン脇→リビング脇へと続きます。14 「ソリド」の外壁にシンプルなLIXILのカーポート「SC」を採用。室内の博物館ぶりと対照的な、すっきりとした外観はご主人のこだわりです。

暮らしのノイズを減らす すぐ片づく仕組みの作り方

じつはちょっとズボラでも大丈夫。ざっくり収納しても「見えない」「気にならない」仕組みさえあれば
部屋はいつもすっきり整って見えるもの。そんな仕組みづくりの実例をご紹介します。

引戸で隠せる壁面収納

普段は引戸を開けて使い、来客時や気分しだいでサッと閉めればノイズが消えます。キッチンだけでなく、リビングのメイン収納として設けると家族みんなのものをまとめて隠せて、一気にすっきり。



キッチン背面収納の引戸はLIXIL「ラフィス」のブラック。(2021年度版P28～Sさん宅)



引戸はLIXIL「ラシッサS」のプレシャスホワイト。まっさらな白が清潔な印象。(2022年度版P14～Tさん宅)



家族みんなの大きなクローゼットをダイニングに。引戸はLIXIL「ラシッサS」のプレシャスホワイト。(2023年度版P22～Mさん宅)



視線を遮る玄関の目隠し

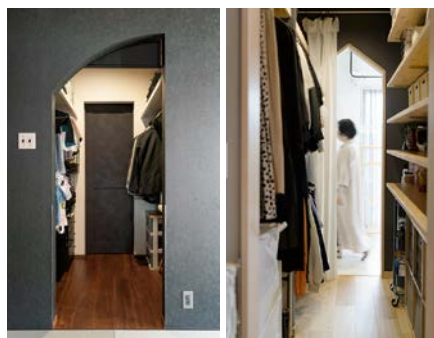
ドアつき玄関収納がなくても大丈夫。玄関脇のスペースをカーテンや間仕切りで目隠しするだけで、季節もののアウトドアグッズなども見えなくなり、玄関がすっきり整った印象になります。



壁とドアの色に合わせた白いロールスクリーンを下ろすだけで、玄関がすっきり。(P34～Sさん宅)

自然に片づく ウォークスルー クローゼット

複数の方向からアクセスできるウォークスルーなら、収納のハードルがぐっと下がります。家族みんなのものをまとめて入れるだけで、自然に家が整っていきます。



右／寝室と洗面室の間にウォークスルークローゼットを設置。洗濯物をそのまま収納できる動線が便利。(2025年度版P42～Hさん宅)
左／和室・リビングと玄関・洗面室の間に位置し、移動のついでに収納できる動線に。奥のLIXIL「ヴィンティア」のチャコールブラックのドアを開けると、玄関、洗面室へとつながります。(2024年度版P8～Tさん宅)



黒いアイランドキッチン背面のカウンターはディスプレイスペースに。その脇に設置したパントリー内に冷蔵庫や使用頻度の低い家電も収納。(2024年度版P14～Mさん宅)

何でもしまえるパントリー

食材だけでなく、季節ものや事務用品まで何でも収納できる万能スペース。作業コーナーを設けることもでき、パントリー自体が目に入る場所にある場合はロールスクリーンで隠せば完璧です。



キッチン真横にパントリーを設置。見せたくない家電はすべてここに。間の壁の有孔ボードはDIYで。(2025年度版P42～Hさん宅)



三角形の垂れ壁がアクセントのパントリーには、家電やゴミ箱などいろいろなものを収納。ケースを白でそろえているので、目隠しのロールスクリーンを開けても美しい。(2023年度版P8～Yさん宅)

収納スペースを生み出す 造作壁と間仕切り壁

パツと見は壁にしか見えないけれど、じつは裏に収納スペースを隠しています。リビングならテレビを設置したり、キッチンに設けると、その裏をパントリーとして活用することもできます。



テレビをとりつけた壁の裏には階段があり、下部を愛猫のお世話スペースに活用。(P28～Uさん宅)



キッチン背面の壁裏に収納スペースを設け、パントリーとして活用。1畳強ながら収納量は十分。(2024年度版P36～Aさん宅)



憧れを形に。

モノトーンでつくる

リユクスな空間



玄関とリビングをつなぐドアはLIXIL「ラフィス」のブラックにクリアグレーのガラス。「ひと目惚れしたドアで、視線が抜けて開放感が生まれます」

Point2

木や植物で
温かみを
プラス

モノトーンの空間を無機質にしないよう、階段の木目や観葉植物で温かみを加えて。天井、正面と側面の壁を3種のグレーで構成したフリースペースにも、グリーンと木の飾り棚を。



Tさん流

ホテルライクなしつらえ

Point1

モノトーンの濃淡や
照明でアクセントを



強弱をつけた色使いと照明使いが、洗練されたリユクスな空間をつくる秘訣。玄関にはLIXILエコカラットプラス「ストーングレース」のダークグレーを採用し、天然石を思わせる質感と間接照明で、上質で落ち着いた雰囲気。

Point3

生活感の
あるものは
とことん隠す

大きなクローゼットや扉つきの収納棚など、隠せる場所をたっぷり用意。二軍のキッチン用品や美容健康グッズも扉つきの棚に。コンセント内蔵で収納中に充電も。



静岡県／Tさん

夫と高校1年生の長女との3人暮らしを楽しむTさんは、15人ものゲストを招いてホームパーティを開くほどのお料理上手。今後は飲食業にも挑戦する予定だそうで、将来的には自宅でもお料理教室を開きたいと夢は広がります。

INFO

[ハンドルネーム] youko-mama

[URL] <https://roomclip.jp/myroom/5379348>

[施工] PG HOUSE 浜松

HOTEL
DETAIL
LIKE

グリーンの差し色が
空間をやさしく



やわらかな光が満ちるリビング。階段、建具や家具に重めの色を使っているので、床は明るいグレーに。石目柄のフロアタイルに黒い目地を入れて、本物のタイルのように見せています。「ここでゆったり過ごす時間は、非日常を感じられる至福のひとつです」



「床や壁面に柄を使っているの、空間を引き締めるためにキッチンは無地にしました」。選んだのはLIXIL「ノクト」のソリッドブラック。一軍の見せる家電もマットな黒系で統一。エアコンも黒を選択し、存在感を消すという徹底ぶりです。



LIXILエコカラットの壁面に85インチのテレビを。アートのような画像を流し、インテリアの一部にしています。

HOTEL DETAIL LIKE

壁掛けディスペンサーで 海外ホテルの雰囲気



3

1 LIXILの浴室。「デザイン重視で選びましたが、お手入れしやすく掃除ストレスが軽減しました」
2 LIXILの洗面化粧台は収納扉を引き出しタイプに。
3 洗面室への引戸はLIXIL「ラフィス」のブラック。アクセントウォールのように空間を美しく引き締めます。



1



2

足し算と引き算で まとまりのある空間に

「本当に住んでいる？と来客にいつも言われます」と笑うTさん。もともと洗練されたモノトーンの空間が好きで、ホテルのような非日常感のあるインテリアに憧れてきたといいます。

新築することになり、イメージしたのは憧れとおりの黒やグレーを基調にしたシンプルなデザイン。SNSなどネットで情報収集すると同時に、実際にモデルハウスやショールームにも数多く足を運び、実物を確認しながら比較検討をしてきました。

「LIXILのショールームには壁紙や床材のサンプルを持ち込んで、ドアやキッチンとの組み合わせを何度もシミュレーションしました。小さなサンプルではイメージしにくくて、1メートル単位の壁紙を持参したこともあります(笑)」

そんなTさんが決めていたのは、空間全体で使う色をしばること。グレー、グレー寄りの白、黒の「3色ルール」をベースに、階段の木目や観葉植物のグリーンで温かみをプラスしました。とはいえ、それぞれ表情の異なるグレーの壁紙はLDKだけで4種類、エコカラットを加えるとう種類にも。複数の壁紙を同じ空



HOTEL
DETAIL
LIKE

見せる家電は
色とデザインにこだわったものを

HOTEL
DETAIL
LIKE

充電ステーションは
収納の中に

表情の異なる
グレーを重ねて
空間に深みを



家電のコードが見えないよう、バックカウンターにはコンセントを多めに設置。

間にとり入れるのは難易度の高いテクニックですが、以前の住まいでの失敗経験が生きているそう。
「DIYで憧れの非日常空間を楽しんでいたのですが、好きな柄を盛り込んでいたら、全部が主張しすぎて疲れてしまっ。足し算と引き算のバランスが大切と気づきました」
明るいグレーに沈んだグレーと濃淡をつけたり、壁や床を柄もので足し算した場合は、マットな黒のキッチンで引き算するなど、空間に強弱をつけました。複数の壁紙を使って、もすっきりと見えて、さらにダウンライトやエコカラットの生む陰影が美しい見せ場をつくっています。



シーリングファンで夏も冬も快適。
視線の先にあるトイレの引戸、
LIXIL「ラフィス」のブラックが吹
き抜け空間に奥行きを添えます。

デザインと機能の両立で 快適な住み心地

壁にとけ込むハイドアや生活感を
隠す収納、色を統一した家電に存在
感を消したコードなど、非日常の空
間をつくるため徹底して視覚的ノイ
ズを減らしているTさん宅。です
が、開け放せばラクに作業できる収
納棚や、部屋への動線上に配置され
たクローゼットなど、隠しながらも
快適に暮らせる工夫がたくさん。
「生活感を抑えながらも使いやすさ
や快適さの機能は確保して、上質で
心地よい毎日を過ごしたいと思っ
ています。まだまだ収納の正解ポジ
ションがわからないものもあるの
で、動線と合わせながらさらに整え
ていきたいですね。今後は、観葉植
物をもっと増やして、空間のアクセ
ントになるような自作のボス
ターやアートを飾ったりしたいです」



HOTEL
DETAIL
LIKE

寝室はぐっすりと
眠るだけの空間に

シンメトリーに配置した照明や、あえて床までの長さにしたカーテンが、ホテルステイの気分を盛り上げます。

くつろぎ時間が増え、
早く帰りたいくなる家

HOTEL
DETAIL
LIKE

壁のようなドアでノイズレスに



1 2階のトイレ、書斎、寝室の引戸はすべてLIXIL「ラフィス」のブラック、引手
はアイアンブラックで統一。ハイドアがまるで壁のように空間になじんでいます。

2 書斎は、パソコンなどのコードが見えない死角を狙ってコンセントを設置。

HOTEL DETAIL LIKE

クローゼットを一元化して
各部屋には物を置かない



③ 長女の部屋。左奥のドアはLIXIL「ラフィス」のブラックで、クローゼットにつながります。自室→クローゼット→廊下→自室と回遊可能。④ ファミリークローゼットはTさん宅のバックヤード。ドアは同じく「ラフィス」を採用。帰宅した長女はここを通り、荷物を置いてから自室に行くので、部屋は常にすっきり。⑤ クローゼット直結で教科書や私物の出し入れもラク。



⑨ 2階のランドリールームはモルタル風の壁紙に。アイロンがけなど作業スペースも備えています。窓はLIXILの「EW」。⑩ ランドリールームのドアはLIXIL「ラフィス」のブラック。さまざまなグレーが「魅せる空間」をマットな黒で引き締めて。



HOTEL DETAIL LIKE

隠し収納で
トイレグッズも
見えない工夫



⑥ 玄関からリビングへのドアはLIXIL「ラフィス」のブラックにクリアグレーのガラス。「光を通し、玄関が明るく広く感じます」
⑦ 手前のトイレドアはLIXIL「ラフィス」のブラック。玄関収納はLIXILのチャコールブラック。「壁になじんで空間に一体感が出ました。収納力も抜群」。玄関のタイルはLIXILの「バセオ」。
⑧ ギャラリーのようなトイレは、正面の壁に横から出し入れする収納棚をひそませ、間接照明もプラス。トイレはLIXIL。

ADVISE

これから家づくりを始めるかたへ

洗練された空間づくりには、物を減らす、収納を増やす、見せる収納を工夫する、この3つのバランスが大切ですが、収納は余裕があるくらいがちょうどいいと感じます。コードやエアコンは生活感が出やすいので、コンセントは位置や種類を工夫しながら多めに設置し、エアコンは間取り段階で設置場所や見え方の検討をおすすめします。



愛着ある県産材の

ぬくもりあふれる

コテージ風の住まい



Point1

天井まである
ハイドアで
空間をより広く

目に入りやすい場所は、特注のハイドアを採用。垂れ壁のないノイズレスな見た目は、空間の広がりや洗練された雰囲気貢献。引戸はLIXIL「ヴィンティア」のナチュラルオーク。

Point3

多種多様な木材を
使ったコテージ風
の佇まい

デッキテラスはウリン材、天井はヒノキ材、床は栗材と、製材所を営むお二人の住まいらしく、さまざまな無垢材を使用。平屋のつくりや開放的な間取りも相まって、別荘地に佇む高級コテージのような住まいに。

Point2

限りなく凹凸をなくして直線を意識



「凹凸ができるのを避けて“直線”にこだわりました」と奥さま。通路の左右に設けた収納(扉はLIXIL「ラシッサS」のプレシャスホワイト)は壁と一体化。大型の家電置き場はあらかじめこまらせて、すっきりと見せています。

友人から新築祝いにもらった竹製のペアマグカップ。ナチュラルな素材感がUさん宅にぴったり♪



岩手県/Uさん

創業65年の製材所の3代目である夫と、事務で会社を支える妻の2人家族。県産材への思いはひとしおで、新居にもふんだんに使用。自社のアカマツ材は、今年特別公開(7/10~8/31)の豊臣秀吉と正室「ねね」ゆかりの京都・高台寺客殿の再建にも使われたそう。

INFO

[ハンドルネーム] toramona
[URL] <https://roomclip.jp/myroom/1375339>
[施工] 株式会社 廣和建匠

HOTEL
DETAIL
LIKE暖かさをデザインする
薪ストーブ

薪ストーブはアメリカの「ヘリテージ」。奥さま特製のピザや煮込み料理にも活躍。



海と山、どちらも身近な岩手・三陸地方の町で、Uさん夫妻は家業である製材所を営んでいます。「晩婚だったんです」と笑顔で話してお二人。東日本大震災後に40代前半で結婚。借家暮らしを経て、住宅事情が落ち着きを取り戻してきた2年前に平屋の住まいを新築しました。

家づくりの中心になったのは奥さま。ネットなどで多くの建築事例をチェックし、「光と風を感じる開放的な家」をめざして自らベースとなる間取り図を作成したそうです。

老後まで見据えた
平屋の住まいを新築

気持ちにも
ゆとりをもたらす
おおらかな住空間

「天井や床の経年変化に合わせて、ヴィンテージ風のインテリアもとり入れてみたいです」と奥さま。仲良し夫妻を見つめるのは保護猫のトラコ(11歳)。妹分のモナコ(2歳)もいます。



階段を隠してすっきり
見せるために、パーテ
ィション風の白い壁を
設置。生活感のあるも
のは裏側に隠せます。

HOTEL
DETAIL
LIKE

見せたいものだけを
ディスプレイ収納



1

1 「開放的な住まいに」という希望に合わせて、キッチン
はフルオープンに。2 キッチン奥のパントリーが“すっきり”
の味方。「どこかに使いたかった」というウィリアム・
モリスの壁紙で自分らしさをプラスしました。



2

廊下のないオープンな間取り、
『家事ラク』を意識した回遊動線な
ど、新居のプランは奥さまの狙いど
おりに。天井高のあるのびやかな
LDは、ご主人こだわりのヒノキ材
の天井が圧巻。ラグジュアリーなコ
テージに滞在している気分になっ
てくれます。

そして、家づくりで意識したこと
がもうひとつ。それは「老後も快適
に暮らせる家」でした。将来、車
椅子を使うことになっても不自由が
ないように床の段差をなくし、家じ
ゅうの扉をほぼ引戸に。

「どちらかがベッドで横になる時間
が長くなっても寂しくないように、
寝室の出入り口にも引戸を選びまし
た。開け放しておけばLDとひと続
きにできます」

まだ50代になったばかりのお二人
ですが、『老後』に配慮した住まい
は、今の暮らしにも豊かさをもたら
してくれているよう。

「寝室の引戸を開け放しておくと、



3 客間として使っている和室の引戸と押入れの引戸はLIXIL「キナリモダン」のコウノキ。出入口の引戸は「閉めていても光が通るように」とアクリル系パネルに。4・5 リビングに続く引戸はLIXIL「ヴィンティア」のナチュラルオーク。ガラスはレトロな質感の「アンティーク」に。開放感を出すため、ガラス部分が大きいものにしたそう。玄関ホールに2タイプの引戸が並びますが、やさしい色調と直線を生かしたデザインが好相性です。

HOTEL DETAIL LIKE

猫のお世話グッズは
階段下にまとめて



HOTEL DETAIL LIKE

生活感が出るものはすべて
バックヤードに



6・7 リビングに面した寝室は洗面室にもつながります。その間にあるドアはペットドア仕様のLIXIL「ヴィンティア」のナチュラルオーク。愛猫たちがより自由に行き来できるよう、くぐり戸をはずして使用。8 洗面室の引戸もLIXIL「ヴィンティア」のナチュラルオーク。LDK→洗面室→寝室→LDKという回遊動線のある間取りが「家事ラク」に重宝しています。9 トイレの引戸はLIXIL「ラシッサS」のプレシャスホワイト。10 寝室の引戸は「アンティーク」ガラス入りLIXIL「ヴィンティア」のナチュラルオーク。大工さんが特別に引分け戸として設置してくれたそう。開け放せばリビングと一体に。上部には今は収納に使っているロフトがあります。

ADVISE

これから家づくりを始めるかたへ

家づくりのすべてにおいて“色”を決められず悩んだのですが、結局、最初によいと思ったものに戻ることが多かったので、「直感も大事です!」とお伝えしたいです(笑)。大事にしようとかこまめに掃除をしようという気持ちになるので、簡単に変えられない部分は特に、少し高価でも本当に好きなものを選ぶのがおすすめです。

ベッドから薪ストーブの炎や窓の外
の緑も眺められます。朝もやが立ち
込めると、別荘地にいるような気分
になれるんですよ(笑)」
1年の半分以上稼働している薪ス
トープの前で、お酒を飲んだり、地
元のスーパヒーロー、大谷翔平選
手の試合をテレビ観戦したり。そん
な夫婦二人の時間がなによりリラッ
クスでき、日々の忙しさを忘れさせ
てくれるとか。木のぬくもりあふれ
るインテリアも癒やし効果は抜群。
「旅行に行く回数が減ってしまった」
というのも大いにうなずける、Uさ
ん夫妻のマイホームです。

美しさは背景と細部から 空間を上質に見せるしつらえ

素敵なインテリアを引き立てるのは、壁や建具、素材といった「背景」の力。
お気に入りの方がより映える空間は、美しい背景とこだわりのある細部のアイテム選びから生まれています。



玄関の壁はLIXIL「エコカラットプラス」のページュカラー。
(2020年度版P4～Tさん宅)



石パネルをとりつけたキッチンの壁。凹凸が光を受けて浮かび上がり、上質な雰囲気を演出。
(2022年度版P8～Wさん宅)

奥さまこだわりの白いタイルで仕上げたキッチンの壁面。(2020年度版P4～Tさん宅)



上質感を高める アクセントウォール

壁の一部に石やタイルなど素材感のあるものを取り入れるだけで、空間はぐっとグレードアップ。そこに置く家具やインテリアが自然と引き立つ、背景としての効果も絶大です。



木材を1枚ずつ張ったウッドタイルの壁面。空間を温かで上質な表情に。(2021年度版P28～Sさん宅)

空間を整える 見切り材と幅木

小さなパーツですが、素材をかえるだけで空間がびしっと締まります。木製や金属素材などにかえると、目の端に入るノイズがなくなり、じわじわと美しさを感じる空間に。

キッチンとリビングの境目に金属の見切り材を使用。床の表情がぐっと洗練されます。キッチン側の床はLIXIL「ラシッサDフロア」のラフモルタル調。(P40～Hさん宅)



LDの床材の方向を変えてゾーニング。真鍮の見切り材が上質なアクセントに。(2025年度版P20～Mさん宅)



グレーのグラデーションが美しい空間に合わせ、幅木も同系色のシンプルなものをセレクト。(P22～Tさん宅)



壁と同化する ノイズレスドア

天井まで届く高さで、余計な線や垂れ壁もない。まるで壁そのものが動くように見えるハイドアは近年、注目度が高まっています。空間をすっきり見せるだけでなく、縦のラインが天井を高く、部屋を広く見せる効果もあり、美しい背景としても空間全体を格上げしてくれます。



LIXIL「ラフィス」のブラックに、ガラスはクリアグレー。上枠がないので天井面がすっきりつながります。(P40～Hさん宅)



4枚ともLIXIL「ラフィス」の引戸。色は下写真左のガラス入り引戸はトープ、ほかはプレシャスホワイト。建具と天井が一体化したように見えて、すっきりした印象に。吊り下げタイプで床にレールがなく、掃除もしやすい。(写真右上の2枚から時計回りに、2024年度版P26～Kさん宅、2025年度版P34～Kさん宅、2024年度版P22～Kさん宅)

上質を生む 把手のデザイン

見落としがちですが、把手は空間のグレードを静かに左右するポイント。壁になじませたり、ゴールド系でアクセントにしたり。細部まで行き届いた空間は、それだけで美しく、上質な印象を与えてくれます。



LIXIL「ラフィス」のプレシャスホワイトのドアに合わせたのは、台座が見えないスマートな把手「スクエアJ」。(2022年度版P20～Kさん宅)



LIXIL「ヴィンティア」のチャコールブラックのドアに合わせて、握り玉はアイアンブラックを。レトロ感ある趣に。(2022年度版P30～Sさん宅)

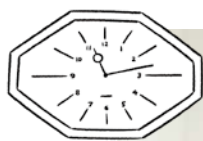


LIXIL「ヴィンティア」のチャコールブラックのドアに真鍮色のハンドル「スクエアL」のブラスゴールドが映えます。(2023年度版P2～Mさん宅)

凜とした心地よさ

隠して、整えて。
バックヤード発想が生む

1階のドアと引戸はLIXIL「ラフィス」のプレシャスホワイトで統一。「垂れ壁がない分、空間につながりが生まれたり、天井が高く見えたり、光のさし込み方がきれいだったり。ハイドアの気持ちよさを暮らしながら日々実感しています」



Point1

飾る場所を決めて
納得のディスプレイに

雑貨好きのSさん。家じゅうに飾るのではなく、ディスプレイするスペースを決めることで、すっきりノイズレスな空間とワクワクする空間を両立させています。

Point2

1階ドアは
すべてハイドアにして
ノイズのない空間に

Point3

大容量の収納スペースで
隠す収納を徹底

大きな収納スペースやパントリーを設けて、生活感のあるものや雑多になりがちなものはその中に。隠す収納を徹底することで、視界はすっきりノイズレスに。子どもスペースにある収納の扉はLIXIL「ラフィス」のプレシャスホワイト。



長野県／Sさん

夫と3歳の双子姉妹の4人家族。インテリアや雑貨が好きで、大学ではプロダクトデザインを勉強。ネットや雑誌などで「理想のパーツ」を探して資料を作り、工務店に相談した実行力の持ち主です。「友達が建てた家を見せてもらったことも参考になりました」

INFO

[ハンドルネーム] emili
[URL] <https://roomclip.jp/myroom/6476610>
[施工] 街コマツ住研

家族が集まるリビングルームは、双子姉妹もお気に入りのスペース。穏やかな時間が流れます。



1



2

1 家事の合間にソファでひと息。コーヒーでリラックスするのが定番。2 リビングのレースカーテンは、ハイドアと同じ効果を狙って天井づけに。光が窓いっぱいに入ってきて、気持ちいい空間に。



4



3



5

HOTEL
DETAIL
LIKE

壁と同化する間仕切りで 2 部屋をすっきり分けられる

3 子どもスペースの奥にある絵本コーナー。その隣に「どれだけ散らかしてもいい」子ども用 TENT を。4・5 リビングと子どもスペースは、LIXIL の引戸「ラフィス」のプレシャスホワイトで2部屋に仕切れることも可能。垂れ壁のない上吊り式なので、開放感とすっきり！ 引手の色を引戸のプレシャスホワイトにそろえることで凹凸感がなく、閉めるとまるで壁のような印象です。

すっきりの中に
温かみが宿る北欧スタイル

見せたくないものとはにかく隠す、を徹底することで、ノイズレスで心地よい空間を実現したSさん。家を建てるにあたって考えたのは、ホテルのバックヤード的なスペースをつくることでした。

キッチン横に設けたパントリーには食材などを収納するだけでなく、インターホンやスイッチをまとめて設置。リビングから見えないようにしています。壁沿いにカウンターも造作。

「パソコンなどを置いて、私の作業スペースにしました。隠れ家のような気分で楽しく使っています」

バックヤード的な発想はほかにも。浴室の隣にランドリールーム兼脱衣室をつくって収納ケースを置き、日常的な衣類は洗って干したらすぐ収納、という仕組みを整えました。このスペースがあるおかげで、たたんだ洗濯物がリビングに出っぱなしという事態が避けられます。必要だけれどあまり見せたくないエアコンは、意外な場所に。

「工務店さんの提案で、テレビを置いた造作家具の中に設置しました」ただ隠しているだけではなく、全館空調になっていて、配管を通して家じゅうに空気が回る仕組みです。

隠すための スペースづくりを 徹底して考える



6



10



9



8



7

キッチン横の広々パントリーには 見せたくないものが 大集合

HOTEL
DETAIL
LIKE

エアコンなど目ざわりなものを とことん排除



12



11

6・9・10 キッチンのカップボードはLIXIL「ノクト」のライトグレイン。ダイニングとの間に設けたカウンターは造作で、扉付きの棚には器などを収納。上には「無印良品」のかご収納を置くつもりでサイズを計ってオーダーしました。カップボード下には、リビングから見えない位置にゴミ箱やワゴンを収納できるスペースをあらかじめ設けています。カップボード背面に貼ったヘリンボーン柄のタイルは大のお気に入り。7 キッチン横のパントリー。ミシンなども置いてワークスペースとしても活用中。8 見せたくないスイッチ類はパントリーの壁に集めてノイズレスに。

「冬が寒い土地なので、家の隅々まで暖かいのは、ほっとします」
ドアをハイドアにしたことも、ノイズレスな空間につながっています。「1階はすべてLIXIL『ラフィス』のプレシヤスホワイトに統一しています。垂れ壁がないので天井が高く見えて開放感があるうえ、フロア全体につながりが生まれて大満足。壁とドアを白でそろえたことも、視界が区切られずよかったと思います」
ノイズになる要素は排除する一方で、床や家具などの素材は木でまとめて、安らげる雰囲気。白い壁やドアとも相性抜群です。
「長く暮らしても飽きないよう、シンプルで、かつ経年変化を楽しめる家にしたかったです。キッチン以外の床は国産の栗材を選びました」

11・12 エアコンは、なんとテレビ下の造作家具の中に。全館空調のために考えられた設置場所ですが、視覚的にもすっきりという副産物が。「友人が建てた家でこの方法を見ていいなと思い、同じ工務店さんに依頼しました」

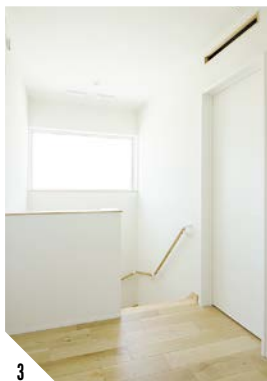
HOTEL
DETAIL
LIKE

飾るためのステージを設けて
華やかな気分



2

1 2階への階段を上ったところにあるニッチ棚。シンプルに徹した1階とは違う世界観を演出。2 2階に4つある部屋のドアはすべてLIXIL「ラシッサS」のプレシャスホワイト。把手も同色にすることで、なじんですっきり。同じドアが並ぶホテルのような規律ある空間に。3 階段の天井近くに設けたFIX窓はLIXIL。トリプルガラスなので厳しい冬も安心。4 エアコンから出る冷暖房の風が配管を通して家じゅうをめくり、快適な温度にキープ。階段の蹴込板にも吹き出し口が。



3



4



1

「心地いい」を
ひとつずつ形にして

インテリアの基調にしているのは、じつはリビングの掛け時計だそう。「木のナチュラルな感じが好きで、これに合わせて家の色みを決めたと言ってもいいほど気に入っています」雑貨が大好きなSさん。家全体のすっきり感を保ちつつ雑貨も楽しむため、飾るスペースを決めています。「キッチンカウンター横には季節の花や行事にまつわるディスプレイを。その近くの壁には棚をとりつけて、オブジェなどを並べています。家族スペースの2階にはニッチ棚をつくり、家族の写真も飾っています」ただノイズレスだけでなく、安らぎやワクワクも感じさせる「ホテルライク」な空間は、リサーチ力と発想力のたまもの。Sさんは「ネットや雑誌で見つけたアイディアをヒントに、わが家に合うしつらえを考えるのが楽しくて」と笑います。家族が重ねる年月とともに、ますます楽しく居心地よく、進化し続けていくこの家の未来が楽しみです。

HOTEL DETAIL LIKE

天井とドアの高さが合うと
すっきり見える！

絵本コーナーだけはカラフルOK！
目につきやすく、すぐ読める環境に
することで絵本に親しみやすく。



HOTEL DETAIL LIKE

ランドリールーム兼脱衣室に
家族みんなの衣類を収納



5・6 玄関から見て、左がリビング
への引戸、右が浴室につながるド
ア。両方ともLIXIL「ラフィス」の
プレシャスホワイト。把手も白なの
で、閉めるとまるで壁の一部のよ
うに見えるハイドアです。特に右のド
アは上部に枠がない2方枠なので天
井面とフラットにつながり、よりす
っきりとした印象に。7 浴室横のラ
ンドリールーム兼脱衣室。「洗濯し
て干した服は、そのままここに収
納。あっという間に片づきます」



10 トイレは壁をグレーにして落ち着いた雰
囲気に。アンティーク風のペンダントライ
トがしっくり。ドアはLIXIL「ラフィス」
のプレシャスホワイト。11 埋め込み収納で
トイレのスペースを有効活用。12 玄関横の
洗面台まわり。タイルでアクセントをつけ
つつクリーンな印象に。キッチンとおそろ
いのタイルを選びました。



ADVISE

これから家づくりを始めるかたへ

家自体はシンプルなつくりにしておき、インテリアで楽しむのがお
すすめです。照明やディスプレイなどで部屋の印象は変えられます
し、なにより、これならインテリアの好みが変わっても安心です。
また、つい見た目のことに考えが行きがちですが、長く住む家なの
で、家事動線や断熱性といった機能面も考えてプランニングを。

8 Sさんの自室の照明は、ネットで見つけた作家さんに依
頼したもの。シンプルな室内が少しドラマチックに。9 窓
から北アルプスの穂高連峰を一望。まるで絵画のよう。

モダンであたたかい
クラフトホテルのように
居心地のいい住まい



開放感あふれるLDKは
いちばん心休まる場所

車3台を止められそうなアプローチから門を入ると芝生の庭が広がり、奥に立つシックな外観の2階建てが、Hさん夫妻のマイホームです。「広い家が欲しくて、土地を2区画分購入しました。いちばんこだわっ

ダイニングの壁には、黒いフレームの額縁にアートを飾って。



埼玉県/Hさん

アパレルショップの店員とアルバイトとして出会い、2021年に結婚。夫はゼネコン会社勤務で一級建築士、妻は在宅で仕事をしています。横浜で4年間暮らしているときに土地を探し始め、2025年9月にマイホームが完成。愛犬の名前は「ディーチャ」。

INFO

[ハンドルネーム] Lm_casa

[URL] <https://roomclip.jp/myroom/6619115>

[施工] ㈱ジャパンホーム

ホテルライクなしつらえ



「グレーは万能でどの色ともなじむから、LDをはじめ1階のクロスは明るいライトグレーを基調にしています」と奥さま。床は濃い茶色のフローリング、LIXILの窓やガラスドアの枠を黒にして引き締めています。

Point1

ブラック×グレー×木材で
温かみあるクールモダン



Point3

収納家具を使わずに
生活感を見せない
隠す収納を

生活感を抑えるため、家の随所に収納場所を設けて、見せたくないものをすぐに片づけられる工夫を。テレビを掛けた壁の裏は、まさかの収納棚。小さい家電や配線、ゲームをまとめています。

Point2

1階は天井までの
ハイドアを採用。
縦線の効果ですっきり！



開放感をなにより大切に、1階は天井高に合わせて室内ドアをすべて2.6mのハイドアに。玄関からLDKに続くガラスドア、LIXIL「ラフィス」のブラックにクリアグレーのガラスは、奥さまのひと目惚れ。



収納の充実とシンクの黒が決め手になり、キッチンもLIXIL「リシェ」ブラックスタックのペニンシュラ型。「飾り棚の木材とグレーの大理石柄クロスの心地よいバランスをめざし、こだわりました」と奥さま。

「たのは開放感です」とご主人。
玄関からリビングへのガラスドアを開けると、柱のない30畳大のLDK。天井は高いところで3.5mあり、南向きの大きなガラス窓からは、テラス越しに緑の芝生がきらめいて見えます。
「私は在宅ワークだから、なによりリラックスできる空間をめざして、内装はグレーと黒、木材とのバランスにこだわりました」と奥さま。
壁紙やキッチンなどグレーを基調に木材を生かして黒をアクセントに配し、全体に落ち着いた色調の気持ちのいい空間をつくっています。

HOTEL
DETAIL
LIKE

床とドアの
グレーでつながり、
空間がすっきり整う



1



2

1 1階の洗面室は、ライトグレーの壁より濃いグレーでドアと床を構成し、シックで美しい空間に。奥に見える浴室に続くハイドアは高さ2.6mのLIXIL「ラフィス」のグレー。床は、マーブルやモルタル調が好みの奥さまが選んだLIXIL「ラシッサDフロア」のラフモルタル調。2 同じ床素材をキッチンでも使っています。

家
に
い
る
と
心
か
ら

リ
ラ
ッ
ク
ス
で
き
る

HOTEL
DETAIL
LIKE

グランピング気分を楽しめる
芝生つきテラス

タイルはLIXILの「メンフィス」、庭はトヨタの芝生「TM9」を採用。
昼は日差しを、夜はきらめく星を感じ、お二人でのんびりと。

HOTEL
DETAIL
LIKE

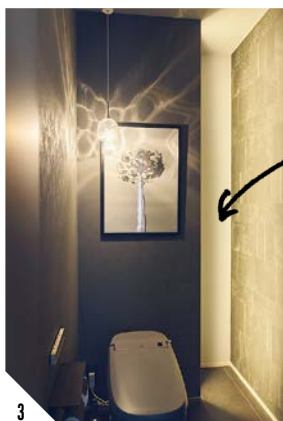
色と素材で魅せる
ギャラリーのようなトイレ



5



4



3

3 1階トイレの壁は濃いグレーのタイル調を選び、アクセントをプラス。トイレはLIXIL「サティスGタイプ」。アートを飾った壁の後方は収納スペースに。オーデリック「アクア」の照明が壁に投影され、エキゾチックな雰囲気。4・5 トイレドアは、浴室ドアと同じノイズレスなハイドア、LIXIL「ラフィス」のグレー。美しいドアノブはLIXILのドイツ製ハンドル。錠が見えない一体型です。

「いとこが建てた横浜の家のLDが35畳あって、そういう大きな家に住みたいと思いました」と奥さま。

100坪の土地を探したところ、希望の場所や予算では見つからず、縁あって出会った土地を思いきって2区画分購入することに。

2024年から毎月、工務店と打ち合わせを重ね、30畳大のLDKを実現させるため、柱のない大空間が可能なSE構法を採用しました。

1階はLDKと洗面室・浴室、トイレなどの水回り、2階は寝室と個室、書斎、トイレを配置。玄関収納やパントリー、W・I・Cなどまとめて収納できる大容量のバックヤードを設け、すっきり感をキープ。そんなご主人提案の間取りに、奥さまが時間をかけてお二人の「好き」な内装や建材をひとつずつ選んでいきました。

「夫も私も、かわいいよりカッコいいが好み。グレーや黒のスタイリッシュなインテリアが好きです。でもリラックスの決め手は木材だと思い、そのバランスをとることと考えました。今はずっといたいくらい、お気に入りの家です。最近前は前より料理するのが楽しいです」

シンプルでクールな空間に、無垢材の温かみやクラフト感がプラスされ、街はずれにオープンしたクラフトホテルのような、開放的で居心地のよさをももっています。

HOTEL DETAIL LIKE

視線の先に
期待がふくらむ
ガラスドア



6



7

6 30畳のLDKの奥は最大天井高3.5m。キッチンからは芝生の庭を見渡せて、開放感満点。造作壁の裏は収納棚になっています。大開口の窓にはLIXIL「TW」のペアガラスを採用。7 テレビ壁の横にスキップフロアを設け、上をワークスペース、下をドッグスペースに。8 リビングドアはLIXIL「ラフィス」のブラックにクリアグレーのガラス。



10



9



13



12

12・13 2階のいちばん奥にある寝室。「心身ともに休めるよう、全体に濃いトーンにしています」と言うとおり、ドアはLIXIL「ヴィンティア」のチャコールブラック。ベッドヘッドには石目調のクロスとふかし壁の切り返して、立体的なメリハリをつけています。窓の反対側には4畳のW・I・Cを配置。



11

9・10 2階のドアは寝室以外、LIXIL「パレット」のグレーアッシュでそろえて。トイレと洗面スペースの隣に配置したご主人の書斎は、好み全開。「ほかの部屋の内装と表情をがらりと変えて、気持ちが高まるよう、カッコいい空間をめざしました」とご主人。11階段やLIXILの手すり「スクエアタイプ」のブラック、ドア枠やドアノブなど、家のアクセントに徹底してブラックをちりばめて空間を引き締め、シンプルでスタイリッシュなインテリアに仕上げています。

ADVISE

これから家づくりを始めるかたへ

まず今の住まいの不満点を具体的に書き出してみよう。リアルな不満こそ、満足な間取りや空間を実現する最高のヒントになります。次に最も大事にしたい場所をひとつ決め、実現したいポイントを全部書き出すこと。空間ごとの優先順位を決め、まず間取りや断熱、窓から決めましょう。

2階の個室。「将来の子ども部屋に備え、ホワイトをベースに、一步入るだけで気分が上がる、明るくかわいらしい空間にしました」とご主人。ドアはLIXIL「パレット」のグレーアッシュ。



光と空気を調える 毎日が整う住まいの工夫

明るくて、空気がきれい。それだけで、気持ちはずいぶんすっきりするものです。
光の入り方や空気・温度を調える、毎日の心地よさに直結する工夫をご紹介します。

光あふれる玄関

玄関が明るく心地よいと、帰ってきたときも出かけるときも気持ちが整うもの。窓がない玄関でも、隣の空間から光をとり込む工夫しだいで、印象はがらりと変わります。



玄関とリビングの間にLIXIL「ノースフォレスト」のテnderオークのガラス入りドアを。窓のない玄関ホールですがリビングからの光がたっぷり入ります。(2025年度版P10～Sさん宅)



中庭に面した壁に縦長の大きな窓を設置。日中、玄関は照明いらずです。(2024年度版P22～Kさん宅)



ガラス窓入り玄関ドアなら、外の光を自然に招き入れることができます。(2024年度版P32～Iさん宅)



玄関そばの和室の引戸をLIXIL「キナリモダン」のクワンキに。光が通るアクリル系パネルにしたことで、心地よい光が玄関にさし込みます。(P28～Uさん宅)

プライバシーを守る

高窓

大きな窓をとれない住宅事情でも、部屋の高い位置に窓を設けることで解決できます。外からの視線を気にせず、自然光をたっぷりとり込める、賢い採光の工夫です。



右／玄関に設けた高窓。朝一番にこの窓を開けて、新鮮な空気を取り入れるのが日々のルーティンです。(P8～Cさん宅)
左／天井のラインに合わせて設置した高窓。見た目もすっきり。(2017年度版P18～Hさん宅)

光と風をつなぐ室内窓

隣の部屋との壁に窓を設けることで、光と風が自然に家じゅうを循環します。仕切りはありながらも、空気と明るさがつながることで、どの部屋にいても心地よさが生まれます。



玄関の正面にとりつけたLIXIL「デコマド」のアイアンブラック。フリールームには同シリーズのFIXタイプを採用。(2023年度版P2～Mさん宅)



寝室の壁に設置したLIXIL「デコマド」のアイアンブラック。家族の気配も伝わり、安心します。(2021年度版P8～Oさん宅)

光を通す 天窗とガラス引戸



黒枠のデザインが空間を引き締めてくれる可動間仕切り引戸は、LIXIL「ラシッサS」のアイアンブラック。(2025年度版P4～Tさん宅)

窓をとれない場所でも、2階から光を落とす天窗や、隣の部屋から光を引き込むガラス引戸など、場所に合わせた工夫で部屋を明るくすることができます。

隣家が迫っているため、窓を設けずに天窗をつけて、2階から光を導いています。(2022年度版P20～Kさん宅)



快適な温度を保つ 全館空調

取材を重ねる中で導入するお宅が増えていと感じたのが、全館空調。エアコンはほぼ見えないのに、家じゅうどこに行っても温度が一定。空間をシームレスにつなぐ、新しい快適さです。



通気口を通して家じゅうに快適温度の空気が循環します。(P34～Sさん宅)

実例に出てきた建材リスト

本書の実例に出てきたLIXILの建材をシリーズに分けてご紹介します。商品名から実例を逆引きし、暮らしの中でのイメージづくりに役立ててください。

建具（ドア、引戸、扉）

Lasissa

自分らしい色やデザインを選べるLIXILのドア。スタンダードなラシッサSと個性的なラシッサDがあります。

LasissaS

ラシッサのベーシックレーベル。種類豊富なラインアップで幅広いスタイルの空間をつくることができます。実例では「ラシッサS」のシリーズ名で紹介されています。



プレシャスホワイト

P38：Sさん宅

2階ドア（そのほかP5～：Nさん宅洗面・脱衣室引戸、リビング収納扉、玄関収納扉、2階収納扉、子ども部屋ドア&引戸、書斎引戸 P8～：Cさん宅キッチン収納引違い戸、洗面室引戸、寝室W・I・C引戸、1階収納扉 P28～：Uさん宅1階収納扉、トイレ引戸）

クリエモカ

P19：Yさん宅
2階トイレドア



アイアンブラック

P19：Yさん宅
玄関納戸引戸



LasissaD VINTIA

ヴィンテージ調の雰囲気の中にモダンで新しさのある、個性あふれるレーベル。ラフでこだわりのある空間にしてくれます。実例では「ヴィンティア」のシリーズ名で紹介されています。

チャコール ブラック

P15～：Yさん宅

リビング納戸引戸、キッチン納戸引戸、趣味部屋引戸、1階トイレ引戸、寝室ドア（そのほかP4～：Nさん宅リビングドア P8～：Cさん宅寝室引戸、1階洋室ドア P43：Hさん宅寝室ドア）



ナチュラル オーク

P28～：Uさん宅

洗面室引戸、寝室引戸、リビング引戸、寝室ドア

LasissaD KINARI MODERN

ビュアな美しさ「生成り」と、現代的な感性をかけた合わせたレーベルです。落ち着いた色のある、やわらかな和モダン空間にぴったり。実例では「キナリモダン」のシリーズ名で紹介されています。



コウノキ

P31：Uさん宅

和室引戸、押入れ引戸

LasissaD Palette

ハンドメイドタッチのような仕上げに、ぬくもりを感じるやわらかな色をラインアップ。懐かしい雰囲気にも上品さをまとった空間に。実例では「パレット」のシリーズ名で紹介されています。



グレーアッシュ

P43：Hさん宅

2階居室ドア、書斎ドア、トイレドア

Raffis

ドアの存在感を弱めて壁と一体化したような、洗練されたすっきりと美しいデザインが魅力。実例では「ラフィス」のシリーズ名で紹介されています。



ブラック

P24～：Tさん宅

2階ドア&引戸、1階トイレドア、洗面室引戸



ブラック

(アルミガラス建具)

P22～：Tさん宅

リビングドア（ガラスはクリアグレー）（そのほかP41：Hさん宅LDKドア）



グレー

P42：Hさん宅

浴室ドア、トイレドア



プレシャス ホワイト

P34～：Sさん宅

1階ドア&引戸&収納扉

床材

Lasissa Dfloor

豊富なデザインとリアルな素材感が魅力の床材シリーズ。木目柄から石目調まで幅広いインテリアに合わせてやすく、住まい全体を美しく引き立てます。抗菌性能も備えているので、毎日の暮らしにも安心です。実例では「ラシッサDフロア」のシリーズ名で紹介されています。



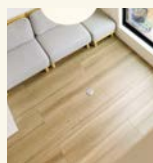
ラフモルタル調

P42：Hさん宅

キッチン、洗面室

Lasissa Dfloor earth

天然木のような表情と肌ざわりに、環境への配慮を加えた床材シリーズ。建築廃材を再利用した「アースボード」を基材に使用し、デザイン性とエコを両立しています。実例では「ラシッサDフロア アース」のシリーズ名で紹介されています。



チェリーF

P8～：Cさん宅

1階、2階、ロフト

畳

アクセント畳

置くだけで使える畳です。暮らしの変化に合わせて、手軽に和のテイストを楽しめます。



グレーージュ

P5：Nさん宅

玄関収納

チャコールブラック

P27：Tさん宅

階段&手すり



チェリー

P13：Cさん宅

（手すりはスクエアタイプのブラック）

手すり

スクエアタイプのブラック P43：Hさん宅

／ お気軽に ／ LIXILショールームを ご体験ください！

商品の選び方はもちろん、どんな小さなお悩みでもLIXILショールームにご相談ください。
お客さまのご要望やお悩みを丁寧にお伺いし、的確なアドバイスをいたします。

ONLINE

オンラインショールームで相談

ご自宅や外出先から接続可能です。
商品の詳細や住まいづくりについて、
お気軽にご相談いただけます。



Check!

どこでもオンライン相談



目安
60分

／ こんな時におすすめ ／

- ▶ ショールームへ行く前に、情報収集やプランの相談がしたい
- ▶ ご自宅の設備の状況を見せながら相談したい
- ▶ 朝や夜遅い時間に、家族と一緒に相談したい

今すぐ相談 予約不要



目安
30分

／ こんな時におすすめ ／

- ▶ ちょっとした質問をしたい
- ▶ ショールームで作成したプランの変更がしたい

SHOW ROOM

ショールームへ行く

全国に
81箇所

サイズや使い勝手がわかるのも
ショールーム見学ならではの！
実際に商品に触れて、色や質感を体感できます。

ショールームで相談

／ こんな時におすすめ ／

- ▶ 気になる商品を実際に見ながら、
特長や使い方を詳しく聞きたい
- ▶ 対面で会話しながらプランの相談がしたい



Check!



ショールームでオンライン相談 新サービス

ご見学中のご質問やプランのご提案など、
タブレットの画面越しに
オンラインコーディネーターに相談できます。

／ POINT ／

- ・タブレットは受付でお貸し出しいたします
- ・お客さまのペースで商品を見ながら相談できます



Check!



組み合わせて
利用するのが
おすすめ！

LIXIL SHOWROOM

オンライン
ショールーム
×
ショールーム
見学



オンラインショールーム



ショールーム

まずはオンラインショールームでプランを作成して、ショールームで実物を見学。訪問時間の短縮になり、効率よく商品を選べます。



ショールーム



オンラインショールーム

まずはショールームで実物を見学して、プランや細かな仕様はオンラインショールームで相談。ご自宅でゆっくり決められます。

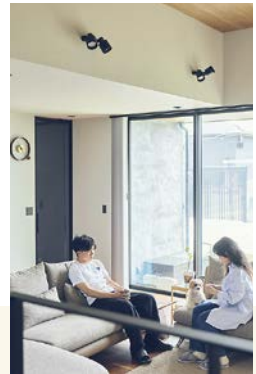


心地よい“しつらえ”が叶える
私流「ホテルライク」なインテリアをテーマにした
「私のインテリア with LIXIL 2026」は
いかがでしたか？

ホテルのような心地よさは
特別な空間ではなく、
毎日の暮らしの中にもつくることができます。
本書が、あなたらしい心地よさを育む
住まいづくりのヒントになれば幸いです。

どの家にも、それぞれの暮らしがあり、
心地よさの答えもひとつではありません。
LIXILは、そんなひとりひとりの暮らしに寄り添い、
住まいづくりのお手伝いをいたします。
ショールーム、ウェブサイトでお待ちしております。

www.lixil.co.jp



／ これまでの記事をWEBでご覧いただけます ／

「私のインテリア with LIXIL」バックナンバー



2025年

部屋を
“より広く見せる”
インテリア



2024年

光、風、人が
“つながる”家



2023年

家が、暮らしが、
気持ちが「ととのう」
インテリア



STAFF

Producer 藤澤玲子(株式会社LIXIL)
Art director 細山田光宣
Designer 山本夏美(細山田デザイン事務所)
Illustrator 芦野公平
Proofreader 荒川照実、佐藤明美
Editor 松井元香(Kawaii-winpress)

Special thanks 取材させていただいたみなさま
施工業者のみなさま
LIXIL担当営業のみなさま
印刷 アベイズム株式会社

※掲載内容は取材・撮影時点のものです。一部仕様変更等により、実際の製品と異なる場合がございます。

©LIXIL Co., Ltd. 2026

本書を無断で複製複製(電子化を含む)することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。また本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。

インテリアの
情報を
もっとチェック！

家具や雑貨みたいに好きな「建材」を探せる

「Living Deli」

LIXILの室内ドアや床材のコーディネート実例や、建材の知識、
憧れのインテリアをつくるためのヒントがいっぱい！ 紹介し
ている家具や小物の購入もできます。

Living Deli
インテリア、もっと自由に



株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00 (ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 (祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

交換用部品については、リクシルストアまで

お客さまご自身でお取替えいただける部品については、LIXIL公式通販サイトよりご注文ください。

■リクシルストア <https://store.lixil.co.jp/>

リクシルストアに掲載のない部品につきましては、お買い求めの取扱い店または

当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001 にご連絡ください。

安全に関するご注意

ご使用の前に「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●表示価格は2026年7月現在のメーカー希望小売価格です。商品のための価格で、取付費・工事費などは別途となります。

●商品価格はすべて税別価格です。

●写真は印刷のため、実際の色と異なる場合がございます。現物またはサンプルなどにてご確認ください。

●商品仕様・価格等は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

WEBカタログから最新の情報が確認できます。

●本カタログ掲載内容および写真・図版の無断転載はかたくお断りします。

株式会社 LIXIL



地球環境のためにLIXILは
業界トップランナーとして
先進的な取組をしています。

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトから
ご確認ください。

0107L26

業務用 | VU5900

